



広報

イキシア



2025年1月

97号

イキシアには「団結して事にあたる」という花言葉があります。やっとな心を集めるようになったこの精神保健の分野に理想の福祉を実現する為にあなたの知恵と力をお貸しください。

『一〇三万円の壁』

理事長 寺田 一郎

新年おめでとうございます。今年も新年のご挨拶ができることをとても嬉しく思います。昨年ワーナーホームでは、災害の被害もなく過ごすことができました。

日本では石破内閣が誕生し、アメリカでは大統領選挙の予備選挙が行われました。

米大統領選挙では、市民間の分断が指摘されています(NHKスペシャル「分断の世紀」超大国・分断)。一方通行のSNSによる真偽がわからないニュースが拡散されました。そして候補者は口汚く罵り合いを続けました。選挙後も対立の構図がそのまま残っています。番組の中でインタビューに答えた農民が「(候補者討論会で)前は意見が違っても尊敬すべき二人の候補者がいた」と語っていました。この現象は、世界各地に蔓延しています。

わが国では、もう少しマシかなとは思いますが、先の総選挙では候補者が何をしようとしているのかが全く見えませんでした。その中で出てきたのが、「給与所得者の一〇三万円の壁」問題で

した。所得税の課税最低限度額の問題です。与党と野党の交渉のなかで、さらに一〇六万円の壁、一三〇万円の壁がクローズアップされています。しかし、ざっくりと言えば一〇三万円の壁は所得税の問題、一〇六万円問題と一三〇万円問題は社会保険料の問題だと思います。それがいつしよくに「手取り額」問題として議論されています。

所得税は誰もが少しでも少なくしたいです。社会保険料も将来の年金給付よりは現在の負担に目が向きます。

一方で、社会保障への国民の期待はどんどん膨らんでいます。できるだけ自分の負担を減らしたい国民感情と社会保障の拡充要求。相反する意識ですが、所得税だけの問題ではなくて社会的施策を総合的に見直すことが求められています。例えば一人親でも安心してフルタイムで働ける社会を実現することなどはまさに一〇三万円の壁と密接に関連しています。そして一定額を超えた収入があれば納税の義務をしっかりと果たし、税金の使い道については目を光らせるとい

うスタンスこそ必要なのではないでしょうか。

年金問題では、近年の制度改革で、適用の「壁」が少しずつ低くされてきました。労働時間要件、賃金要件、企業規模要件が緩和されてきました。このことは年金制度を適用し高齢化に備えるという建前の陰に少しでも適用対象を拡大して年金収入を確保したいという政府の思惑も見えてきます。

ワーナーの一〇三万円問題

ワーナーホームではパートタイマーの人たちを対象に希望を聞いたことがありました(二〇二二年)。調査時点で要件を満たして(社会保険に)新規加入したいと答えた人は二十七名、引き続き扶養内を希望した人が五名でした。時給の増額の上に、労働時間を増やしたいという希望者が多かったのです。パート労働者にとって収入を増やすという最終手段は労働時間を増やすことでした。これは使用者も大歓迎ですが、福祉分野ではここに大きな「壁」があります。一つ

は介護の仕事はAIに任せられないということ。もう一つは、収入が政府による公定価格(サービス報酬等)であらかじめ決められていること。ここに事業者の裁量・努力では解決できない財源問題があります。

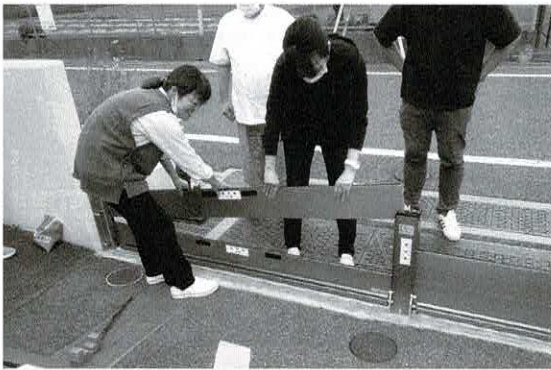
ところで二〇二四年一〜十月の介護事業者の倒産が一四五件で過去最多を更新したということです(東京商工リサーチ、十一月七日)。訪問介護七十二件、通所・短期入所が四十八件などですが、原因の七割が売り上げ不振でした。

このように収入源が限られている福祉事業ですが、新規参入者は急激に増え続けています。人材不足も深刻です。有効求人倍率では社会福祉専門職業従事者が二・四九倍、と全産業の〇・九九倍を大きく上回っていることがその辺りの事情を物語っています。

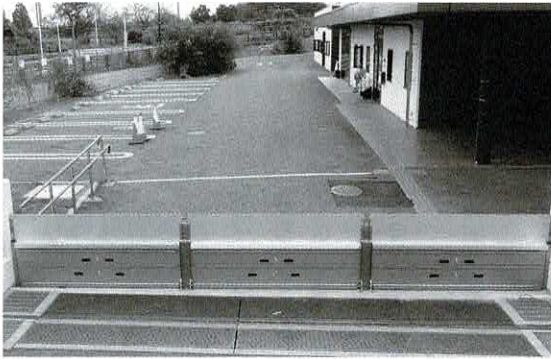
しかし、従事者のうち四十六%の人が「仕事内容・やりがい」について満足し、五十七%が「今の仕事を続けたい」と言っています(介護労働安定センター、令和五年)。この貴重な意識に福祉事業は支えられています。それにどのように応えるか、私の大きな課題です。

柏拠点(柏下) 水害対策工事完了

令和五年九月一日号イキシアで、柏拠点(柏下)の水害被害について詳細を書かせて頂き、それから多くの方々に支えられて復興を果たすことが出来ました。しかし、今年も浸水被害の恐れが何度もあり、三号館グループホーム入居の利用者を事前避難させることや、通所系事業所を閉所するなどの対応を行ってきました。大雨台風の情報が入る度に職員、利用者共に緊張感が走る状況が続いていました。



この課題を解決するために、今年六月に地域生活支援拠点たんぽぽ二号館・三号館の水害対策工事が着工し、九



月に工事完了となりました。工事内容は、「敷地を囲う防水壁の設置」、「敷地内排水ポンプの設置」、「汚水・雨水の配管への逆止弁の設置」、「入口の止水板設置」で、総工費は九、四六〇、〇〇〇円でした。「敷地を囲う防水壁の設置」は、建設距離七九・六mの防水壁を設置したことで、敷地入口以外からの水の流入を防げるようになりました。また、「敷地内排水ポンプの設置」によって、敷地内に溜まる水を敷地外へ排水させることが可能になりました。「汚水・雨水の配管への逆止弁の設置」では、建物内

につながる排水管の逆流を防ぐことができるようになりました。実際に昨年の水害被害の際にはトイレや排水管からの逆流被害もありました。そして、「入口の止水板設置」は、敷地入口の両壁に止水板設置用のレールを取り付け、止水板の設置が可能となりました。止水板は着脱式パネルで計九枚あり、浸水被害の恐れがある際に事前に設置することによって敷地入口道路からの水の流入を防ぐことが出来ます。

水害対策工事によって、被害防止と職員、利用者達の安心に繋がったと思います。そして、今後の課題は、急に発生するゲリラ豪雨や線状降水帯への対応、緊急時の職員体制の確保、一号館の水害対策が挙げられます。これらの課題についてBCP計画にて対策対応を明記し、定期訓練を実施することで、緊急時に動ける体制を作りたいと思います。(九月三十日に止水板設置訓練を実施しました。)

今後も柏拠点(柏下)の利用者、PAISIBLEのお客様が安心して利用いただけるように今後も必要な対策を講じていきます。

(上野)

わーなー日誌 《ワークショップしらすと》

ワークショップしらすとは、現在、大網白里市、東金市、山武市、九十九里町にお住いの方が、軽作業や農園作業等に通っています。利用者と送る日々の出来事に、一緒に喜んで、知識や技術の高さに驚きを感じています。

十一月に、大網白里アリーナを会場として行われた大網白里市産業文化祭に出店しました。販売する野菜は農園グループの皆が丹精込めて作った品です。「収穫から袋詰めまで自分たちに任せておいて」と、疲れを見せずに言ってくれます。その姿に頼もしさを感じ、心が温まります。



当日はワークショップしらすとの利用者とワークショップおあみの利用者も、産業文化祭を楽しみに来ていました。その中で、KさんとIさんが売子の手伝いをすると言って、大きな声でお客さん呼び込んでくれました。「いらっしゃいませ」「ごゆっくり見てください」と。話を聞くと、前日からこつそり声出しの練習をしていたそうです。嬉しさのあまり、寒さを忘れ笑みを浮かべていました。

今後も、利用者と一緒に作業だけでなく、作業以外にもやりがいや楽しさを体験できる居場所でありたいと思います。



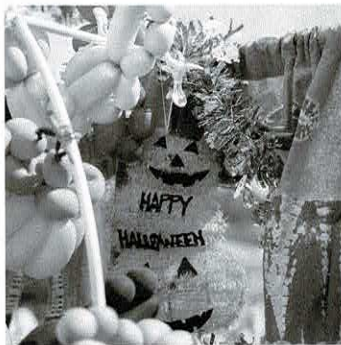
高田拠点 すくすくみんなの秋祭り

十月十九日(土)に、すくすくハウスに新しく開設した「すくすくファーム」のお披露目を兼ねて、すくすくハウス「みんなの秋まつり」を開催しました。当日は天気にも恵まれ、約三四〇名の方に来場いただき、普段すくすくハウスに通う方々も地域の方々もいっしょにお祭りを楽しみました。



「すくすくファーム」は、地域の皆さんがコンポストを使って作った堆肥を利用して、野菜を作り、収穫した野菜で収穫祭やお料理体験などを楽しむ循環型のコミュニティ農園です。農園の管理やコンポストの販売は「すくすくハウス」に通う障害のある方々が

担当します。「すくすくファーム」のお披露目会では、理事長の挨拶からはじまり、本プロジェクトにご助成いただいた洲崎福祉財団様の御挨拶や柏市長より賜りました。メッセージのご紹介の他、生活介護に通うメンバーが、特殊なスイッチ（意思決定支援装置）を使ってはじまりの挨拶をしたり、地域のお子さんとすくすくハウスに通う医療的ケアのあるお子さんが、畑にたまねぎの苗を植えるイベントなどを行い、来場頂いた地域の皆様に見守られながらスタートしました。



また、同時開催した「すくすくみんなの秋祭り」では、キッチンカーやレモネードスタンドの他、キャンドル作りや手形アート、読み聞かせなどのワークショップの他、ボッチャや視線を使ったeスポーツなどのブースが並びました。また、ステージでは吹奏楽団の演奏やアフリカダンス、読み聞かせなどが行われ、老



若男女、障害の有無に関わらず皆さんが、一緒に楽しみ、すくすくハウスが温かな笑顔に包まれました。職員にとっても、これからも地域の方との関係を大切にしながら、障害をもった方が安心して暮らせる地域作りをしていきたいと改めて感じる大切な一日となりました。



あけましておめでとうございます!

2025年 新年のご挨拶

利用者さんに聞きました!

「2024年を振り返って漢字一文字」 「2025年の抱負」

来年の抱負...人生を楽しむ。



有蘭康大さん



来年の抱負...風邪をひかないようにする、おいしい料理を食べる、勉強をする、歯茎が痛いから歯医者に行く。



小島加世子さん



来年の抱負...私たちの二日は人生の二齣であり成長へのプロセスであり生ある限り雄々しく生きなければならぬ。



泉水秀明さん



来年の抱負...昨年は念願であった外勤に参加する事が出来ました。今年はずべての外勤に参加出来る様になりたいです。



藤崎満帆さん



来年の抱負...グループホームの友達と仲良くやっつけていきたいです。デイの仲間ともこれからも仲良くやっつけていきたいです。



鵜澤直美さん



来年の抱負...継続は、力なり、と言いますよね。来年も、現状維持として、続けていけたらと思っています。



藤田勇氣さん



来年の抱負...だいちの生活がとても楽しいです。去年は怪我をしてしまったので今年には怪我をせず健康にいききたいです。



荻野明一さん



来年の抱負...ワークショップでお金を貯めてパビリオンを見に、大阪万博に行きたいです。



川口信行さん



来年の抱負…トランプのない楽しい一年にしたいと思います。



勝股 豊和さん



来年の抱負…感謝の出会いがあり、凍りついていた心が少しずつ溶け始め、私は今笑えている。この出逢いを永遠の宝物に。



宮崎 ムユミさん



来年の抱負…ワークシヨップ鎌取の作業に頑張つて通い、良いスタートが切れたらいいなと思います。



長嶋 康宏さん



来年の抱負…今年は、イベントの計画、プレゼン力を身につけ実行。気分の波を穏やかに、皆と楽しく生きていきたいです。



宇野 ユミさん



来年の抱負…みんなが笑顔で良い一年を迎えられれば良いなと思います。困った時は支えあえる存在でありたいと思います。



石野 宏美さん



来年の抱負…最愛の人と逢える日を願い、髪を伸ばしています。再会を目標に今の生活を続けて行きます。



河村 勇太さん



来年の抱負…初めて利用するようになり、少しずつ通えるようになりました。一歩一歩、将来に向け頑張つていきたいです。



N.Kさん



来年の抱負…去年は体調が思わしくなかったため、今年は自分のペースで色々なことにチャレンジして出来る事を増やしていきたいです。



五十嵐さん



来年の抱負…二十歳になりました。今年はいっぱい笑つて推し活！友人や家族に優しくできる大人の女性になりたいです。



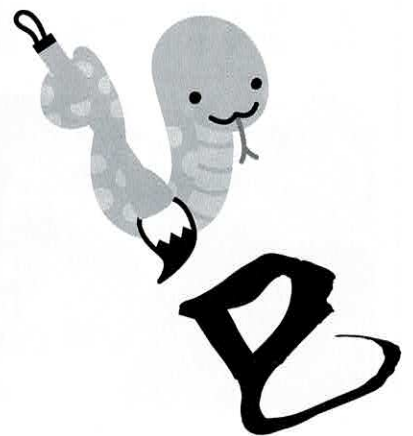
紅谷 実咲さん



来年の抱負…電動椅子をゲットして、自分の行きたい方へ自分で移動する！ミッキーに会いに行く！



大松 生楓さん



「第二十九回みんなのまつり」～まつりだよ!!みんな集合!!～

十月二十六日(土)に本部・長生・千葉拠点合同でみんなのまつりを開催しました。今年のテーマは「まつりだよ!!みんな集合!!」ということで、また皆さんと顔を合わせて交流したい、コロナ禍でできてしまった皆さんとの距離を、まつりを通して埋めていきたい、そんな思いで決めました。

当日は各事業所から様々な模擬店を出店しました。ほかほか肉まんやパティスリー販売、ストラックアウトやダーツなどのゲーム、中には万華鏡づくりなど体験型の模擬店もありました。

ステージ発表では三名の利用者からギター&歌演奏やダンス発表があり、カトレア会から活動紹介や「ピフォアアフター発表」としてワーナーホームと出会ってどう変わったかななどの貴重なお話をお聞きすることができました。今年はカトレア会のブースも設け、来場



抽選会



池ポッチャゲーム(ポッチャ)



開会式

したご家族が交流する機会ともなりました。

コロナ禍を経てやっと少しずつ取り戻してきた生活。今回のみんなのまつりをきっかけに、また皆さんと顔を合わせて交流できる、そんな場を企画していたらと思います。

ご来場いただいた皆さん、ありがとうございます。また来年もお待ちしております。

みんなのまつりのステージ発表前は、昨年のイメージがあり、今年は特にかんりのプレッシャーがありました。その期待に応えたい気持ちで、一杯でした。ステージが終わって沢山の山の人から、良かったと聞いたので良かったです。又、来年も楽しみにしているの、皆さんも楽しみに待っていて下さい。心から、ありがとうございます。(中台貴記)

ステージ発表を終えて
利用者より



ご家族によるピフォアアフター発表

柏下拠点BBQ

柏下(柏下)の交流を目的とし、初めて、拠点全体での交流イベントを行いました。地域活動支援センター・わたげワークスペース・たじぶる柏・エクラス・たんぽぽ相談の五事業所に呼びかけ、利用者四十八名、職員二十名・計六十八名の参加がありました。テーマは「トウギヤザいしょうぜ」に決まり、盛り上がり一役買ってもらいました。

当日は途中、雨に見舞われ、テントの下でお肉を守り、食べきれない程、堪能することができました。

職員・利用者と一緒に準備をし、目的であった交流を図ることが出来ました。利用者の笑顔と楽しかった。また、やってほしいとの声を聞き、今後も、柏下(柏下)のイベントを行っていきたく感じました。



千葉拠点BBQ

九月にバーベキュー大会を行いました。今年は焼肉だけでなく、カステラやかき氷、水ヨーヨーやゲームの出店を用意し、利用者さんにも出店の手伝いをしてもらうなど、参加者みんなが交流ができる会になりました。

(山本)



ワナーホームの主な動き

《九月》

- ・地活たんぽぽ合同卓球・ボードゲーム／わたげワークス
- ・アイス屋さん(すくすくハウス)／すくすく(児童発達)
- ・草木染め(憩いの場)／長生地域生活支援センター
- ・BBQ大会(千葉拠点)／千葉拠点
- ・夏レク外出(“わくわく”を体験(千葉市科学館)／ぶらり
- ・交流BBQ大会(1号館前駐車場)／柏下拠点
- ・秋レク(アリオ蘇我)／ワークシヨップ茂原
- ・OB会・就労支援セミナー／わたげワークス
- ・すくすくみんなの秋祭り(すくすくハウス)／すくすく
- ・ハロウィン仮装週間(すくすくハウス)／すくすく・ページブル高田
- ・みんなのまつり(パンプキンハウス)／本部・長生・千葉拠点
- ・秋レク外出(R一二六号線沿道(東金市・山武市)／ぶらり
- ・第一回在職者交流会(昭和の森)／山武プリオ
- ・お出かけツアー(白里海岸、海の駅九十九里)／ホレブデイサービスセンター

《十一月》

- ・シナリー祭(シナリー化粧品会社)／ワークシヨップしらさと
- ・花火大会(柏拠点エクラス)／エクラス
- ・PAISIBLE柏周年祭(七周年)／ページブル柏
- ・日帰り旅行／だいち
- ・文化祭(たんぽぽセンターホール)／地域活動支援センターたんぽぽセンター
- ・秋の外出(おたかの森SC)／ページブル高田
- ・遠足(成田ゆめ牧場)／すくすく(放デイ)
- ・七五三写真撮影(すくすくハウス)／すくすく(児童発達)
- ・お出かけツアー(九十九里ハーブガーデン)／ホレブデイサービスセンター
- ・大網白里市産業文化祭(大網白里アリーナ)／ワークシヨップしらさと
- ・みかん狩り(房総十字園)／ブジエール
- ・クリスマス会／エクラス
- ・クリスマス会／本部拠点
- ・クリスマス会／千葉拠点
- ・クリスマス会／地域活動支援センターたんぽぽセンター

- ・クリスマス会／わたげワークス
- ・クリスマス会／すくすく
- ・忘年会／だいち
- ・忘年会／ページブル高田
- ・年始レク(ホレブ寮)／クロワール・ホレブ寮・シエスタ・ファミリー・ノバハイツ白里
- ・第二回ピアサポート交流会(パンプキンハウスホール)／山武プリオ



イキシア入会のお願

イキシア会は利用者とそのご家族及び一般有志からなるワナーホームの支援団体です。活動においてご理解をいただき、ご支援・ご協力を賜ります様宜しくお願い致します。

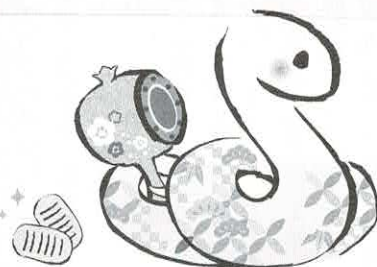
広報イキシアは年三回(一月・五月・九月)発行されます。

《会費》

賛助会員 三,〇〇〇円(年)
正会員 一〇,〇〇〇円(年)

編集後記

あけましておめでとうございませう。皆さんは、二〇二五年をどんな年にしたいですか？私は某占い師によると、「幸運の年」らしいです。些細な日常にも幸せを感じられるようにしたいと思います。皆様も幸せを感じる一年になりますように。(N)



発行所 ワナーホーム イキシア会

千葉県大網白里市細草3215

電話 0475-77-2100(代)

URL <https://www.wanahome.or.jp>

発行人 寺田 一郎